



「静かな夏」 2021年、2点組：各1620×1303mm、油彩・キャンバス

“N.E.blood 21.”は精力的に制作、発表活動を行う東北・北海道在住若手作家を紹介するシリーズ企画です。美術館とアーティストとの新しい関係を模索しつつ、作家同士のネットワーク形成を念頭に置き複数の作家の個展を開催しています。第79回目となる本展では岩手県盛岡市在住の作家千葉幸子を紹介します。

千葉は1977年岩手県盛岡市生まれ。2009年に岩手大学大学院教育学研究科教育専攻美術教育専修を修了。盛岡市を拠点として自然や身近な風景をモチーフとした油彩画を制作、個展、グループ展で精力的に作品を発表しています。

同じ風景でも見る人によって、あるいは同一人物でも年齢やその時々感情などによって印象や感じ方は異なります。例えば海の風景一。ある時は清々しく、またある時はもの悲しく、侘しく感じることもあるでしょう。写真に写ることのないその印象や微かな心の内は、絵や言葉、音として表現することで初めてその姿を現します。そして他者はその表現を通じて作者の想いや印象を想像することができます。

本展では、気仙沼の風景を描いた新作を含む千葉の油彩画作品約25点を展示します。千葉は現在の気仙沼にどんな印象を抱き、絵の中にどんな想いを込めたのでしょうか。画面の絵具の色や筆のストロークなどから、その想いを探ってみましょう。



「窓の外につづく緑」 2022年、1620×1303、油彩・キャンバス



「山と海の間に」
2022年、1167×803mm、油彩・キャンバス



「雪の中の春」
2022年、803×652mm、油彩・キャンバス



「希望への出航」
2022年、803×652mm、油彩・キャンバス

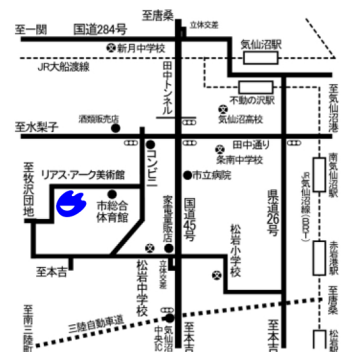
千葉幸子-Chiba Sachiko-略年譜

1977年岩手県盛岡市生まれ。
2009年岩手大学大学院教育学研究科教育専攻美術教育専修修了。

主な展覧会等■グループ展(旧石井県令邸/盛岡 2013年より毎年)、
■face to face #10「Voyage Out」(Gallery Camellia/東京 2016年)、
■個展「早坂幸子展」(諄子美術館/北上 2017年/旧姓:早坂)、
■岩手県美術選奨受賞(2017年)、
■個展「夕焼けの海をフカクと」(Gallery Camellia/東京 2018年)、
■「North Wind Project3〈目と手でみている〉」菊池咲 小松崎晃 千葉幸子(石神の丘美術館/岩手 2021年)

N.E.blood 21 Vol.79 CHIBA SACHIKO EXHIBITION 2022.6.1wed—7.18mon RIAS ARK MUSEUM OF ART

ホームページQRコード



同時開催
N.E.blood 21
vol.78
吉賀 伸展
彫刻／山形県
観覧無料

リアス・アーク美術館利用案内 ●常設展—①美術作品展 ②歴史民俗資料展＝方舟日記—海と山を生きるリアスな暮らし— ③東日本大震災の記録と津波の災害史展【常設展観覧料＝一般:700(600)円/大学・専門学生:600(500)円/高校生:500(400)円/小・中学生:350(200)円 ※()内は20名以上の団体料金】 ●ワークショップ—土・日を中心に開催するアトリエ ●レストラン「キッチンズ ベース夢の舎」—地元食材中心の創作料理をご提供。日替りランチ(¥600)、シーフード系パスタ・カレー(¥900～)が人気。

■三陸自動車道【気仙沼中央IC】から約5km(仙台市から約120km/石巻市から約70km/陸前高田市から約25km)
■東北自動車道【一関IC】から約50km ◆無料駐車場あり(普通37台・大型5台)
■東北新幹線【一関】—(大船渡線)—【気仙沼】/東北新幹線【仙台】—(気仙沼線)—【気仙沼】▶気仙沼駅からタクシー(約15分)をご利用ください。※「タクシー割引券」と「常設展観覧券引換券」のセットクーポン券が気仙沼駅前観光案内所、気仙沼観光コンベンション協会(電話:0226-22-4560)で販売中。※現在、気仙沼線【前谷地～気仙沼】間、大船渡線【盛～気仙沼】間はBRT運行。